

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 新潟県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	松代病院	2	新潟市	新潟市民病院	20
-	柿崎病院	3	見附市	見附市立病院	21
-	津川病院	4	上越市	上越地域医療センター病院	22
-	妙高病院	5	阿賀野市	あがの市民病院	23
-	リウマチセンター	6	佐渡市	佐渡市立両津病院	24
-	坂町病院	7	佐渡市	佐渡市立相川病院	25
-	六日町病院	8	魚沼市	堀之内病院	26
-	加茂病院	9	魚沼市	小出病院	27
-	十日町病院	10	南魚沼市	ゆきぐに大和病院	28
-	小出病院	11	南魚沼市	南魚沼市民病院	29
-	中央病院	12	湯沢町	湯沢病院	30
-	吉田病院	13	津南町	津南病院	31
-	がんセンター	14	さくら福祉保健事務組合	南部郷厚生病院	32
-	新発田病院	15			
-	精神医療センター	16			
-	魚沼基幹病院	17			
-	県央基幹病院	18			
-	燕労災病院	19			

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	松代病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,669 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	55	52.9	55.8	57.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	52.9	55.8	57.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.4	20.3	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	55.4
修正医業収益(千円)	456,937

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	869,374			
1 経常収益	849,974			
(1) 医業収益	483,407			
入院収益	285,168			
外来収益	158,015			
診療収入計	443,183			
その他医業収益	40,224			
(うち他会計負担金)	26,470			
(2) 医業外収益	366,567			
(うち国・都道府県補助金)	70,052			
(うち他会計補助・負担金)	282,333			
(うち長期前受金戻入)	7,017			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	19,400			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	861,137			
2 経常費用	841,737			
(1) 医業費用	825,281			
職員給与費	580,414	120.1	62.1	78.9
材料費	61,836	12.8	25.3	15.6
(うち薬品費)	24,543	5.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,276	6.1	11.4	6.0
減価償却費	38,331	7.9	9.5	11.7
経費	142,687	29.5	22.7	31.2
(うち委託料)	77,018	15.9	12.6	14.3
研究研修費	923			
資産減耗費	1,090			
(2) 医業外費用	16,456			
(うち支払利息)	826	0.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	19,400			
損益				
経常損益	8,237			
純損益	8,237			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.0		101.9	100.3
医業収支比率	58.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	36.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	63.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	35.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	64.3		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	290,323	308,803
資本勘定繰入	15,600	7,664
計	305,923	316,467

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	柿崎病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,492 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	55	60.5	73.7	78.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	60.5	73.7	78.6
平均在院日数(一般病床のみ)		23.6	25.7	24.6

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	56.3
修正医業収益(千円)	555,824

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,025,911			
1 経常収益	1,019,511			
(1) 医業収益	590,153			
入院収益	351,701			
外来収益	187,950			
診療収入計	539,651			
その他医業収益	50,502			
(うち他会計負担金)	34,329			
(2) 医業外収益	429,358			
(うち国・都道府県補助金)	30,729			
(うち他会計補助・負担金)	381,228			
(うち長期前受金戻入)	12,869			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,400			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,015,256			
2 経常費用	1,008,856			
(1) 医業費用	987,606			
職員給与費	661,391	112.1	62.1	78.9
材料費	60,752	10.3	25.3	15.6
(うち薬品費)	22,477	3.8	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,019	5.1	11.4	6.0
減価償却費	55,315	9.4	9.5	11.7
経費	206,886	35.1	22.7	31.2
(うち委託料)	98,330	16.7	12.6	14.3
研究研修費	1,315			
資産減耗費	1,947			
(2) 医業外費用	21,250			
(うち支払利息)	650	0.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	6,400			
損益				
経常損益	10,655			
純損益	10,655			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.1		101.9	100.3
医業収支比率	59.8		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	40.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	70.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	40.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	59.9		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	394,524	415,557
資本勘定繰入	26,841	14,544
計	421,365	430,101

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	津川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,883 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	67	44.5	47.6	46.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	67	44.5	47.6	46.5
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	19.1	19.3

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,225,006			
1 経常収益	1,213,706			
(1) 医業収益	648,462			
入院収益	359,036			
外来収益	221,445			
診療収入計	580,481			
その他医業収益	67,981			
(うち他会計負担金)	56,377			
(2) 医業外収益	565,244			
(うち国・都道府県補助金)	103,690			
(うち他会計補助・負担金)	441,285			
(うち長期前受金戻入)	13,877			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,300			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,172,017			
2 経常費用	1,160,717			
(1) 医業費用	1,137,572			
職員給与費	725,775	111.9	62.1	78.9
材料費	74,831	11.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	27,310	4.2	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,719	6.1	11.4	6.0
減価償却費	56,234	8.7	9.5	11.7
経費	277,303	42.8	22.7	31.2
(うち委託料)	107,418	16.6	12.6	14.3
研究研修費	1,045			
資産減耗費	2,384			
(2) 医業外費用	23,145			
(うち支払利息)	745	0.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	11,300			
損益				
経常損益	52,989			
純損益	52,989			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.6		101.9	100.3
医業収支比率	57.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	41.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	76.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	40.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	61.7		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	52.0
修正医業収益(千円)	592,085

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	476,028	497,662
資本勘定繰入	26,460	13,518
計	502,488	511,180

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	妙高病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,084 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	56	61.3	74.7	72.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	61.3	74.7	72.5
平均在院日数(一般病床のみ)		25.4	24.7	25.3

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,079,675			
1 経常収益	1,072,675			
(1) 医業収益	599,093			
入院収益	351,980			
外来収益	198,465			
診療収入計	550,445			
その他医業収益	48,648			
(うち他会計負担金)	32,650			
(2) 医業外収益	473,582			
(うち国・都道府県補助金)	37,973			
(うち他会計補助・負担金)	409,952			
(うち長期前受金戻入)	20,886			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,060,787			
2 経常費用	1,053,787			
(1) 医業費用	1,031,248			
職員給与費	689,811	115.1	62.1	78.9
材料費	72,867	12.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	26,908	4.5	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	36,357	6.1	11.4	6.0
減価償却費	48,015	8.0	9.5	11.7
経費	208,773	34.8	22.7	31.2
(うち委託料)	91,841	15.3	12.6	14.3
研究研修費	1,007			
資産減耗費	10,775			
(2) 医業外費用	22,539			
(うち支払利息)	1,245	0.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	7,000			
損益				
経常損益	18,888			
純損益	18,888			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.8		101.9	100.3
医業収支比率	58.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	41.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	73.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	41.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	59.8		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	54.9
修正医業収益(千円)	566,443

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	422,852	442,602
資本勘定繰入	55,026	25,091
計	477,878	467,693

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 リウマチセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,303 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	71.1	75.0	74.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	71.1	75.0	74.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	16.8	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,047,652			
1 経常収益	2,038,152			
(1) 医業収益	1,559,493			
入院収益	1,033,390			
外来収益	499,437			
診療収入計	1,532,827			
その他医業収益	26,666			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	478,659			
(うち国・都道府県補助金)	29,913			
(うち他会計補助・負担金)	340,567			
(うち長期前受金戻入)	99,544			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,500			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,060,220			
2 経常費用	2,050,720			
(1) 医業費用	2,020,268			
職員給与費	1,112,515	71.3	62.1	67.4
材料費	514,532	33.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	397,888	25.5	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	95,905	6.1	11.4	8.8
減価償却費	133,925	8.6	9.5	10.7
経費	251,482	16.1	22.7	29.2
(うち委託料)	142,529	9.1	12.6	13.9
研究研修費	7,098			
資産減耗費	716			
(2) 医業外費用	30,452			
(うち支払利息)	1,515	0.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	9,500			
損益				
経常損益	-12,568			
純損益	-12,568			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.4		101.9	100.3
医業収支比率	77.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	16.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	21.8		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	16.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	82.8		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.2
修正医業収益(千円)	1,559,493

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	305,051	340,567
資本勘定繰入	19,701	9,374
計	324,752	349,941

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	坂町病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,223 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	148	63.3	76.8	83.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	63.3	76.8	83.2
平均在院日数(一般病床のみ)		19.3	19.9	20.8

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,774,389			
1 経常収益	2,745,889			
(1) 医業収益	1,954,146			
入院収益	1,148,168			
外来収益	686,702			
診療収入計	1,834,870			
その他医業収益	119,276			
(うち他会計負担金)	75,431			
(2) 医業外収益	791,743			
(うち国・都道府県補助金)	56,632			
(うち他会計補助・負担金)	676,113			
(うち長期前受金戻入)	49,454			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	28,500			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,761,645			
2 経常費用	2,733,145			
(1) 医業費用	2,666,058			
職員給与費	1,694,233	86.7	62.1	67.4
材料費	349,417	17.9	25.3	17.7
(うち薬品費)	150,939	7.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	176,183	9.0	11.4	8.8
減価償却費	141,424	7.2	9.5	10.7
経費	470,023	24.1	22.7	29.2
(うち委託料)	197,586	10.1	12.6	13.9
研究研修費	3,076			
資産減耗費	7,885			
(2) 医業外費用	67,087			
(うち支払利息)	24,976	1.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	28,500			
損益				
経常損益	12,744			
純損益	12,744			
累積欠損金	6,036,488			
経常収支比率	100.5		101.9	100.3
医業収支比率	73.3		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	27.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	38.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	27.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	73.0		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.5
修正医業収益(千円)	1,878,715

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	698,658	751,544
資本勘定繰入	158,569	145,744
計	857,227	897,288

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名			
病院名	六日町病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	-	-	9.5	10.7
経費	-	-	22.7	29.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	2,967,357			
経常収支比率	-		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	-		89.3	84.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	7,397	-
資本勘定繰入	58,108	6,736
計	65,505	6,736

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	加茂病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,882 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	156	45.4	53.5	44.4
療養	12	-	-	29.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	168	37.9	41.0	41.9
平均在院日数(一般病床のみ)		24.2	22.4	19.7

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	48.7
修正医業収益(千円)	1,184,698

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,837,908			
1 経常収益	1,816,508			
(1) 医業収益	1,267,834			
入院収益	772,950			
外来収益	368,853			
診療収入計	1,141,803			
その他医業収益	126,031			
(うち他会計負担金)	83,136			
(2) 医業外収益	548,674			
(うち国・都道府県補助金)	252,020			
(うち他会計補助・負担金)	252,392			
(うち長期前受金戻入)	27,786			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	21,400			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,542,994			
2 経常費用	2,521,594			
(1) 医業費用	2,431,358			
職員給与費	1,417,546	111.8	62.1	67.4
材料費	231,221	18.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	131,540	10.4	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	84,495	6.7	11.4	8.8
減価償却費	434,190	34.2	9.5	10.7
経費	344,559	27.2	22.7	29.2
(うち委託料)	175,995	13.9	12.6	13.9
研究研修費	2,945			
資産減耗費	897			
(2) 医業外費用	90,236			
(うち支払利息)	34,329	2.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	21,400			
損益				
経常損益	-705,086			
純損益	-705,086			
累積欠損金	17,685,248			
経常収支比率	72.0		101.9	100.3
医業収支比率	52.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	18.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	26.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	18.3		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	58.7		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	291,329	335,528
資本勘定繰入	53,102	44,301
計	344,431	379,829

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	十日町病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	33,349 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	275	64.6	73.4	76.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	275	64.6	73.4	76.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	18.3	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,423,311			
1 経常収益	5,325,726			
(1) 医業収益	4,218,222			
入院収益	2,931,293			
外来収益	1,109,862			
診療収入計	4,041,155			
その他医業収益	177,067			
(うち他会計負担金)	113,900			
(2) 医業外収益	1,107,504			
(うち国・都道府県補助金)	449,111			
(うち他会計補助・負担金)	438,548			
(うち長期前受金戻入)	185,026			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	97,585			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,900,667			
2 経常費用	5,753,504			
(1) 医業費用	5,510,116			
職員給与費	3,068,167	72.7	62.1	66.1
材料費	1,017,399	24.1	25.3	19.8
(うち薬品費)	485,123	11.5	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	490,596	11.6	11.4	9.3
減価償却費	393,088	9.3	9.5	10.2
経費	1,005,346	23.8	22.7	28.2
(うち委託料)	451,350	10.7	12.6	13.6
研究研修費	8,200			
資産減耗費	17,916			
(2) 医業外費用	243,388			
(うち支払利息)	31,160	0.7	1.3	1.6
(3) 特別損失	147,163			
損益				
経常損益	-427,778			
純損益	-477,356			
累積欠損金	3,957,013			
経常収支比率	92.6		101.9	99.9
医業収支比率	76.6		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.1		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	10.2		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	83.0		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.5
修正医業収益(千円)	4,104,322

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	525,216	552,448
資本勘定繰入	213,733	173,890
計	738,949	726,338

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	小出病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	-	-	9.5	10.0
経費	-	-	22.7	21.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	665,731			
経常収支比率	-		101.9	101.7
医業収支比率	-		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	-		89.3	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-

備考：  
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,738	-
資本勘定繰入	44,031	18,555
計	46,769	18,555

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,305 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	524	74.2	83.7	84.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	1.2	-	-
計	530	73.4	82.7	83.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	13.3	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,364,632			
1 経常収益	17,966,832			
(1) 医業収益	15,071,447			
入院収益	9,508,454			
外来収益	5,003,757			
診療収入計	14,512,211			
その他医業収益	559,236			
(うち他会計負担金)	395,657			
(2) 医業外収益	2,895,385			
(うち国・都道府県補助金)	1,186,672			
(うち他会計補助・負担金)	1,016,395			
(うち長期前受金戻入)	551,962			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	397,800			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,990,208			
2 経常費用	16,752,408			
(1) 医業費用	16,286,431			
職員給与費	8,216,247	54.5	62.1	55.8
材料費	5,199,206	34.5	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,964,294	19.7	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,142,208	14.2	11.4	13.0
減価償却費	938,177	6.2	9.5	8.7
経費	1,892,596	12.6	22.7	19.7
(うち委託料)	1,043,456	6.9	12.6	12.6
研究研修費	18,845			
資産減耗費	21,360			
(2) 医業外費用	465,977			
(うち支払利息)	221,848	1.5	1.3	1.2
(3) 特別損失	237,800			
損益				
経常損益	1,214,424			
純損益	1,374,424			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.2		101.9	102.5
医業収支比率	92.5		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	7.7		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	98.8		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.1
修正医業収益(千円)	14,675,790

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,184,017	1,412,052
資本勘定繰入	955,484	1,321,543
計	2,139,501	2,733,595

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	吉田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,771 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	199	39.3	41.4	42.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	39.3	41.4	42.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	17.6	16.2

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.5
修正医業収益(千円)	2,093,561

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,723,095				
1 経常収益	2,686,595				
(1) 医業収益	2,203,432				
入院収益	968,854				
外来収益	1,075,391				
診療収入計	2,044,245				
その他医業収益	159,187				
(うち他会計負担金)	109,871				
(2) 医業外収益	483,163				
(うち国・都道府県補助金)	53,243				
(うち他会計補助・負担金)	353,518				
(うち長期前受金戻入)	49,917				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	36,500				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	3,606,952				
2 経常費用	3,570,452				
(1) 医業費用	3,402,376				
職員給与費	1,968,179	89.3	62.1	67.4	
材料費	516,877	23.5	25.3	17.7	
(うち薬品費)	300,518	13.6	13.5	8.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	199,154	9.0	11.4	8.8	
減価償却費	224,654	10.2	9.5	10.7	
経費	682,654	31.0	22.7	29.2	
(うち委託料)	342,075	15.5	12.6	13.9	
研究研修費	4,081				
資産減耗費	5,931				
(2) 医業外費用	168,076				
(うち支払利息)	6,575	0.3	1.3	1.5	
(3) 特別損失	36,500				
損益					
経常損益	-883,857				
純損益	-883,857				
累積欠損金	14,683,908				
経常収支比率	75.2		101.9	100.3	
医業収支比率	64.8		83.2	79.7	
他会計繰入金対経常収益比率	17.2		12.3	15.5	
他会計繰入金対医業収益比率	21.0		16.0	20.8	
他会計繰入金対総収益比率	17.0		12.2	15.6	
実質収益対経常費用比率	62.3		89.3	84.8	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	427,500	463,389
資本勘定繰入	83,119	45,715
計	510,619	509,104

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	がんセンター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,173 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨が 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	421	69.7	79.4	72.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	421	69.7	79.4	72.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	12.5	12.4

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,216,237			
1 経常収益	16,155,137			
(1) 医業収益	14,600,056			
入院収益	7,094,216			
外来収益	6,926,405			
診療収入計	14,020,621			
その他医業収益	579,435			
(うち他会計負担金)	241,316			
(2) 医業外収益	1,555,081			
(うち国・都道府県補助金)	41,509			
(うち他会計補助・負担金)	1,263,356			
(うち長期前受金戻入)	194,071			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	61,100			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,091,222			
2 経常費用	16,030,122			
(1) 医業費用	15,745,158			
職員給与費	6,731,948	46.1	62.1	59.8
材料費	6,394,774	43.8	25.3	27.7
(うち薬品費)	4,978,159	34.1	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,350,699	9.3	11.4	12.4
減価償却費	619,835	4.2	9.5	8.2
経費	1,810,207	12.4	22.7	19.2
(うち委託料)	1,182,263	8.1	12.6	10.2
研究研修費	154,363			
資産減耗費	34,031			
(2) 医業外費用	284,964			
(うち支払利息)	20,059	0.1	1.3	1.2
(3) 特別損失	61,100			
損益				
経常損益	125,015			
純損益	125,015			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.8		101.9	103.7
医業収支比率	92.7		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	9.3		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	91.4		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.2
修正医業収益(千円)	14,358,740

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,344,178	1,504,672
資本勘定繰入	281,164	218,608
計	1,625,342	1,723,280

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	新発田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	40,233 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	429	79.0	86.5	89.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	45	62.9	58.2	62.2
感染症	4	24.8	3.1	-
計	478	77.0	83.1	85.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	13.1	13.5

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.4
修正医業収益(千円)	13,081,071

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,493,024			
1 経常収益	17,265,024			
(1) 医業収益	13,448,709			
入院収益	8,694,557			
外来収益	4,182,100			
診療収入計	12,876,657			
その他医業収益	572,052			
(うち他会計負担金)	367,638			
(2) 医業外収益	3,816,315			
(うち国・都道府県補助金)	1,330,554			
(うち他会計補助・負担金)	1,490,416			
(うち長期前受金戻入)	821,755			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	228,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,651,394			
2 経常費用	16,423,394			
(1) 医業費用	15,685,006			
職員給与費	8,087,601	60.1	62.1	59.8
材料費	4,494,274	33.4	25.3	27.7
(うち薬品費)	2,468,763	18.4	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,938,928	14.4	11.4	12.4
減価償却費	1,092,066	8.1	9.5	8.2
経費	1,973,008	14.7	22.7	19.2
(うち委託料)	1,139,979	8.5	12.6	10.2
研究研修費	23,291			
資産減耗費	14,766			
(2) 医業外費用	738,388			
(うち支払利息)	283,083	2.1	1.3	1.2
(3) 特別損失	228,000			
損益				
経常損益	841,630			
純損益	841,630			
累積欠損金	275,849			
経常収支比率	105.1		101.9	103.7
医業収支比率	85.7		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	13.8		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	10.6		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	93.8		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,563,515	1,858,054
資本勘定繰入	586,690	918,829
計	2,150,205	2,776,883

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名 精神医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,502 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	400	32.7	36.7	38.8
感染症	-	-	-	-
計	400	32.7	36.7	38.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	38.2
修正医業収益(千円)	1,095,725

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,994,143			
1 経常収益	2,977,893			
(1) 医業収益	1,095,725			
入院収益	872,654			
外来収益	211,646			
診療収入計	1,084,300			
その他医業収益	11,425			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,882,168			
(うち国・都道府県補助金)	74,630			
(うち他会計補助・負担金)	1,596,078			
(うち長期前受金戻入)	172,151			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	16,250			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,016,865			
2 経常費用	3,000,615			
(1) 医業費用	2,867,201			
職員給与費	2,029,231	185.2	62.1	104.8
材料費	127,351	11.6	25.3	8.7
(うち薬品費)	67,231	6.1	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,020	1.8	11.4	1.3
減価償却費	284,475	26.0	9.5	13.5
経費	418,111	38.2	22.7	33.3
(うち委託料)	206,571	18.9	12.6	18.6
研究研修費	2,712			
資産減耗費	5,321			
(2) 医業外費用	133,414			
(うち支払利息)	82,520	7.5	1.3	2.7
(3) 特別損失	16,250			
損益				
経常損益	-22,722			
純損益	-22,722			
累積欠損金	23,825			
経常収支比率	99.2		101.9	101.4
医業収支比率	38.2		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	53.6		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	145.7		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	53.3		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	46.1		89.3	66.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668

備考:  
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,500,551	1,596,078
資本勘定繰入	272,344	394,153
計	1,772,895	1,990,231

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名 魚沼基幹病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	33,549 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨 感 災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	400	74.0	84.3	84.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	62.2	67.6	68.2
感染症	4	23.2	-	-
計	454	71.8	80.9	80.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.6	11.7	10.9

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,564,165			
1 経常収益	3,564,165			
(1) 医業収益	401,524			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	401,524			
(うち他会計負担金)	371,470			
(2) 医業外収益	3,162,641			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,621,897			
(うち長期前受金戻入)	1,539,492			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,888,108			
2 経常費用	3,888,108			
(1) 医業費用	3,720,421			
職員給与費	-	-	62.1	59.8
材料費	-	-	25.3	27.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4
減価償却費	1,859,557	463.1	9.5	8.2
経費	1,860,864	463.5	22.7	19.2
(うち委託料)	30,124	7.5	12.6	10.2
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	-	-	-	-
(2) 医業外費用	167,687			
(うち支払利息)	111,664	27.8	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-323,943			
純損益	-323,943			
累積欠損金	920,241			
経常収支比率	91.7		101.9	103.7
医業収支比率	10.8		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	55.9		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	496.5		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	55.9		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	40.4		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.8
修正医業収益(千円)	30,054

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,729,081	1,993,367
資本勘定繰入	243,383	486,766
計	1,972,464	2,480,133

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名 新潟県
市町村・組合名			
病院名	県央基幹病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	-
材料費	-	-	25.3	-
(うち薬品費)	-	-	13.5	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	-
減価償却費	-	-	9.5	-
経費	-	-	22.7	-
(うち委託料)	-	-	12.6	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.3	-
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		101.9	-
医業収支比率	-		83.2	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	-
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	-
実質収益対経常費用比率	-		89.3	-

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	9,850	14,776
計	9,850	14,776

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名 燕労災病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,926 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	300	62.7	71.4	73.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	62.7	71.4	73.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	18.7	19.3

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,170,468,975	
標準財政規模(千円)	549,165,641	
財政力指数	0.47506	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.2
	将来負担比率(%)	324.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	913,173			
1 経常収益	865,439			
(1) 医業収益	117,638			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	117,638			
(うち他会計負担金)	107,393			
(2) 医業外収益	747,801			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	394,265			
(うち長期前受金戻入)	249,376			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	47,734			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	862,618			
2 経常費用	862,618			
(1) 医業費用	756,752			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	248,867	211.6	9.5	10.0
経費	507,375	431.3	22.7	21.7
(うち委託料)	10,454	8.9	12.6	12.2
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	510	-	-	-
(2) 医業外費用	105,866			
(うち支払利息)	1,706	1.5	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	2,821			
純損益	50,555			
累積欠損金	6,484			
経常収支比率	100.3		101.9	101.7
医業収支比率	15.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	58.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	426.4		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	54.9		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	42.2		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	98,180,406
1 固定資産	83,804,980
(1) 有形固定資産	78,702,047
(2) 無形固定資産	29,763
(3) 投資その他の資産	5,073,170
2 流動資産	14,375,426
(1) 現金及び預金	3,937,260
(2) 未収金及び未収収益	10,215,918
(3) 貸倒引当金( )	231,232
(4) 貯蔵品	282,710
3 繰延資産	-
負債合計	101,767,074
1 固定負債	69,183,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,269,802
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,590,842
(7) リース債務	323,144
2 流動負債	17,505,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,548,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,215,017
(6) リース債務	150,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,052,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,077,943
(1) 長期前受金	30,448,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,370,639
資本合計	-3,586,668
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,575,687
(1) 資本金剰余金	816,958
(2) 利益剰余金	-33,392,645
負債・資本合計	98,180,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,586,668
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.4
修正医業収益(千円)	10,245

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	132,604	501,658
資本勘定繰入	85,851	239,187
計	218,455	740,845

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名	新潟市				
病院名	新潟市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	58,109 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	652	76.1	86.5	88.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	16	27.8	38.6	49.5
感染症	8	84.1	10.7	0.4
計	676	75.0	84.4	86.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.8	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	789,275	
決算規模(千円)	483,721,487	
標準財政規模(千円)	233,709,954	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	134.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.3
修正医業収益(千円)	20,093,401

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	25,788,028			
1 経常収益	25,403,201			
(1) 医業収益	20,876,856			
入院収益	14,222,304			
外来収益	5,487,428			
診療収入計	19,709,732			
その他医業収益	1,167,124			
(うち他会計負担金)	783,455			
(2) 医業外収益	4,526,345			
(うち国・都道府県補助金)	1,388,336			
(うち他会計補助・負担金)	1,758,758			
(うち長期前受金戻入)	1,088,257			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	384,827			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	26,618,366			
2 経常費用	26,239,461			
(1) 医業費用	24,702,854			
職員給与費	12,150,846	58.2	62.1	55.8
材料費	6,843,385	32.8	25.3	29.8
(うち薬品費)	3,463,842	16.6	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,379,543	16.2	11.4	13.0
減価償却費	2,089,909	10.0	9.5	8.7
経費	3,531,214	16.9	22.7	19.7
(うち委託料)	2,288,732	11.0	12.6	12.6
研究研修費	60,307			
資産減耗費	27,193			
(2) 医業外費用	1,536,607			
(うち支払利息)	379,374	1.8	1.3	1.2
(3) 特別損失	378,905			
損益				
経常損益	-836,260			
純損益	-830,338			
累積欠損金	5,011,473			
経常収支比率	96.8		101.9	102.5
医業収支比率	84.5		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.0		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	12.2		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	9.9		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	87.1		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,969,644
1 固定資産	20,192,191
(1) 有形固定資産	18,877,490
(2) 無形固定資産	725,393
(3) 投資その他の資産	589,308
2 流動資産	11,777,453
(1) 現金及び預金	7,959,583
(2) 未収金及び未収収益	3,758,579
(3) 貸倒引当金( )	23,133
(4) 貯蔵品	82,424
3 繰延資産	-
負債合計	29,666,163
1 固定負債	24,405,375
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,618,336
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,756,506
(7) リース債務	30,533
2 流動負債	4,771,028
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,039,857
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	745,925
(6) リース債務	20,537
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,863,065
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	489,760
(1) 長期前受金	12,176,465
(2) 長期前受金収益化累計額( )	11,686,705
資本合計	2,303,481
1 資本金	7,307,820
2 剰余金	-5,004,339
(1) 資本金剰余金	7,134
(2) 利益剰余金	-5,011,473
負債・資本合計	31,969,644
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,542,213	2,542,213
資本勘定繰入	1,047,213	1,047,213
計	3,589,426	3,589,426

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名	見附市				
病院名	見附市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,283 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	94	77.8	77.9	84.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	94	77.8	77.9	84.5
平均在院日数(一般病床のみ)		21.3	20.7	19.5

設立団体の状況		
人口(人)	39,237	
決算規模(千円)	27,475,877	
標準財政規模(千円)	9,922,104	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	97.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	104.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.7
修正医業収益(千円)	1,871,430

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,378,029			
1 経常収益	2,355,453			
(1) 医業収益	1,907,724			
入院収益	785,783			
外来収益	543,110			
診療収入計	1,328,893			
その他医業収益	578,831			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	447,729			
(うち国・都道府県補助金)	27,435			
(うち他会計補助・負担金)	350,179			
(うち長期前受金戻入)	38,200			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	22,576			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,488,593			
2 経常費用	2,466,125			
(1) 医業費用	2,263,729			
職員給与費	1,473,017	77.2	62.1	78.9
材料費	321,317	16.8	25.3	15.6
(うち薬品費)	245,656	12.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,824	1.8	11.4	6.0
減価償却費	122,451	6.4	9.5	11.7
経費	337,074	17.7	22.7	31.2
(うち委託料)	184,510	9.7	12.6	14.3
研究研修費	6,478			
資産減耗費	3,392			
(2) 医業外費用	202,396			
(うち支払利息)	11,224	0.6	1.3	1.7
(3) 特別損失	22,468			
損益				
経常損益	-110,672			
純損益	-110,564			
累積欠損金	1,385,926			
経常収支比率	95.5		101.9	100.3
医業収支比率	84.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.4		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	20.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	16.3		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	79.8		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,470,507
1 固定資産	2,929,347
(1) 有形固定資産	2,917,986
(2) 無形固定資産	11,361
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,541,160
(1) 現金及び預金	936,662
(2) 未収金及び未収収益	591,041
(3) 貸倒引当金( )	561
(4) 貯蔵品	14,018
3 繰延資産	-
負債合計	4,590,281
1 固定負債	2,201,619
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,591,440
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	610,179
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,160,913
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	66,534
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	82,850
(6) リース債務	12,338
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	987,747
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,227,749
(1) 長期前受金	2,329,294
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,101,545
資本合計	-119,774
1 資本金	1,252,245
2 剰余金	-1,372,019
(1) 資本金剰余金	13,907
(2) 利益剰余金	-1,385,926
負債・資本合計	4,470,507
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	119,774
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	226,128	386,473
資本勘定繰入	14,494	75,000
計	240,622	461,473

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	72.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名	上越市				
病院名	上越地域医療センター病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,956 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	8	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	142	66.6	81.6	81.5
療養	55	73.5	81.4	80.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	197	68.5	81.6	81.2
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	19.6	20.7

設立団体の状況		
人口(人)	188,047	
決算規模(千円)	117,633,219	
標準財政規模(千円)	57,113,046	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	80.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.0
修正医業収益(千円)	2,072,512

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,489,364			
1 経常収益	2,425,051			
(1) 医業収益	2,076,130			
入院収益	1,614,197			
外来収益	401,521			
診療収入計	2,015,718			
その他医業収益	60,412			
(うち他会計負担金)	3,618			
(2) 医業外収益	348,921			
(うち国・都道府県補助金)	56,998			
(うち他会計補助・負担金)	194,610			
(うち長期前受金戻入)	79,341			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	64,313			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,700,178			
2 経常費用	2,634,423			
(1) 医業費用	2,559,340			
職員給与費	7,043	0.3	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	116,434	5.6	9.5	10.7
経費	2,428,609	117.0	22.7	29.2
(うち委託料)	2,195,863	105.8	12.6	13.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	7,254	-	-	-
(2) 医業外費用	75,083	-	-	-
(うち支払利息)	14,360	0.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	65,755	-	-	-
損益				
経常損益	-209,372			
純損益	-210,814			
累積欠損金	-			
経常収支比率	92.1		101.9	100.3
医業収支比率	81.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	84.5		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,950,203
1 固定資産	2,480,634
(1) 有形固定資産	2,462,559
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	18,075
2 流動資産	1,469,569
(1) 現金及び預金	1,085,616
(2) 未収金及び未収収益	407,247
(3) 貸倒引当金( )	23,294
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,526,666
1 固定負債	1,614,212
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,125,798
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	488,414
(7) リース債務	-
2 流動負債	347,654
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	124,850
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	121,724
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	101,080
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	564,800
(1) 長期前受金	2,531,651
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,966,851
資本合計	1,423,537
1 資本金	-
2 剰余金	1,423,537
(1) 資本金剰余金	1,052,000
(2) 利益剰余金	371,537
負債・資本合計	3,950,203
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	198,228	198,228
資本勘定繰入	82,422	82,422
計	280,650	280,650

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名	阿賀野市				
病院名	あがの市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,192 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	196	68.9	75.2	72.8
療養	-	-	89.9	86.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	196	68.9	77.7	75.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	27.2	26.4

設立団体の状況		
人口(人)	40,696	
決算規模(千円)	25,900,955	
標準財政規模(千円)	12,897,729	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	124.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	509,142			
1 経常収益	509,142			
(1) 医業収益	1,342			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	1,342			
(うち他会計負担金)	1,342			
(2) 医業外収益	507,800			
(うち国・都道府県補助金)	1,000			
(うち他会計補助・負担金)	70,367			
(うち長期前受金戻入)	182,901			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	895,575			
2 経常費用	852,237			
(1) 医業費用	806,069			
職員給与費	4,984	371.4	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	626,450	46680.3	9.5	10.7
経費	172,097	12823.9	22.7	29.2
(うち委託料)	166,546	12410.3	12.6	13.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	2,538	-	-	-
(2) 医業外費用	46,168	-	-	-
(うち支払利息)	45,034	3355.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	43,338	-	-	-
損益				
経常損益	-343,095			
純損益	-386,433			
累積欠損金	8,073,895			
経常収支比率	59.7		101.9	100.3
医業収支比率	0.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	14.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	5343.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	14.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	51.3		89.3	84.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,097,543
1 固定資産	6,918,362
(1) 有形固定資産	6,917,830
(2) 無形固定資産	532
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	179,181
(1) 現金及び預金	122,553
(2) 未収金及び未収収益	56,628
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,615,185
1 固定負債	4,957,147
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,957,147
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	170,785
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	156,317
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	347
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,105
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	487,253
(1) 長期前受金	1,478,166
(2) 長期前受金収益化累計額( )	990,913
資本合計	1,482,358
1 資本金	8,126,253
2 剰余金	-6,643,895
(1) 資本金剰余金	1,430,000
(2) 利益剰余金	-8,073,895
負債・資本合計	7,097,543
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	44,668	71,709
資本勘定繰入	57,352	57,352
計	102,020	129,061

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	601631.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			新潟県
市町村・組合名	佐渡市		
病院名	佐渡市立両津病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,097 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救 へ 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	99	54.8	51.8	54.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	54.8	51.8	54.3
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	17.8	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	51,492	
決算規模(千円)	50,787,651	
標準財政規模(千円)	26,167,516	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.6
	将来負担比率(%)	134.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.6
修正医業収益(千円)	892,199

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,171,156			
1 経常収益	1,142,063			
(1) 医業収益	950,584			
入院収益	521,843			
外来収益	327,908			
診療収入計	849,751			
その他医業収益	100,833			
(うち他会計負担金)	58,385			
(2) 医業外収益	191,479			
(うち国・都道府県補助金)	61,174			
(うち他会計補助・負担金)	104,190			
(うち長期前受金戻入)	8,064			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	29,093			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,278,412			
2 経常費用	1,248,153			
(1) 医業費用	1,211,776			
職員給与費	662,121	69.7	62.1	78.9
材料費	119,680	12.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	41,973	4.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	68,035	7.2	11.4	6.0
減価償却費	64,655	6.8	9.5	11.7
経費	363,382	38.2	22.7	31.2
(うち委託料)	176,667	18.6	12.6	14.3
研究研修費	722			
資産減耗費	1,216			
(2) 医業外費用	36,377			
(うち支払利息)	74	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	30,259			
損益				
経常損益	-106,090			
純損益	-107,256			
累積欠損金	2,584,365			
経常収支比率	91.5		101.9	100.3
医業収支比率	78.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	17.1		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	13.9		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	78.5		89.3	76.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,032,888
1 固定資産	974,434
(1) 有形固定資産	961,572
(2) 無形固定資産	1,165
(3) 投資その他の資産	11,697
2 流動資産	1,058,454
(1) 現金及び預金	783,449
(2) 未収金及び未収収益	262,915
(3) 貸倒引当金( )	540
(4) 貯蔵品	12,539
3 繰延資産	-
負債合計	301,287
1 固定負債	40,729
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,825
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	1,904
2 流動負債	180,563
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,163
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	63,191
(6) リース債務	2,829
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	96,468
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	79,995
(1) 長期前受金	294,432
(2) 長期前受金収益化累計額( )	214,437
資本合計	1,731,601
1 資本金	4,696,155
2 剰余金	-2,964,554
(1) 資本金剰余金	1,086,803
(2) 利益剰余金	-4,051,357
負債・資本合計	2,032,888
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	162,209	162,575
資本勘定繰入	9,400	42,287
計	171,609	204,862

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	332.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			新潟県
市町村・組合名	佐渡市		
病院名	佐渡市立相川病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,740 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	1	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	52	59.8	62.0	73.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	59.8	62.0	73.2
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	51,492	
決算規模(千円)	50,787,651	
標準財政規模(千円)	26,167,516	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.6
	将来負担比率(%)	134.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	365,619			
1 経常収益	358,904			
(1) 医業収益	268,794			
入院収益	139,789			
外来収益	73,648			
診療収入計	213,437			
その他医業収益	55,357			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	90,110			
(うち国・都道府県補助金)	6,326			
(うち他会計補助・負担金)	73,421			
(うち長期前受金戻入)	5,488			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,715			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	500,428			
2 経常費用	493,703			
(1) 医業費用	480,507			
職員給与費	277,679	103.3	62.1	78.9
材料費	34,695	12.9	25.3	15.6
(うち薬品費)	12,619	4.7	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,076	8.2	11.4	6.0
減価償却費	35,022	13.0	9.5	11.7
経費	132,813	49.4	22.7	31.2
(うち委託料)	59,520	22.1	12.6	14.3
研究研修費	220			
資産減耗費	78			
(2) 医業外費用	13,196			
(うち支払利息)	3	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	6,725			
損益				
経常損益	-134,799			
純損益	-134,809			
累積欠損金	1,466,992			
経常収支比率	72.7		101.9	100.3
医業収支比率	55.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	31.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	41.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	30.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	50.1		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,032,888
1 固定資産	974,434
(1) 有形固定資産	961,572
(2) 無形固定資産	1,165
(3) 投資その他の資産	11,697
2 流動資産	1,058,454
(1) 現金及び預金	783,449
(2) 未収金及び未収収益	262,915
(3) 貸倒引当金( )	540
(4) 貯蔵品	12,539
3 繰延資産	-
負債合計	301,287
1 固定負債	40,729
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,825
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	1,904
2 流動負債	180,563
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,163
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	63,191
(6) リース債務	2,829
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	96,468
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	79,995
(1) 長期前受金	294,432
(2) 長期前受金収益化累計額( )	214,437
資本合計	1,731,601
1 資本金	4,696,155
2 剰余金	-2,964,554
(1) 資本金剰余金	1,086,803
(2) 利益剰余金	-4,051,357
負債・資本合計	2,032,888
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	48.0
修正医業収益(千円)	230,803

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	111,340	111,412
資本勘定繰入	12,619	136,247
計	123,959	247,659

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	332.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	魚沼市		
病院名	堀之内病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	34,483	
決算規模(千円)	34,831,034	
標準財政規模(千円)	15,987,913	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	24.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	5,192			
1 経常収益	5,192			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	5,192			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	5,192			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,191			
2 経常費用	5,191			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	-	-	9.5	13.0
経費	-	-	22.7	47.1
(うち委託料)	-	-	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	5,191			
(うち支払利息)	5,191	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	1			
純損益	1			
累積欠損金	1,041,446			
経常収支比率	100.0		101.9	98.5
医業収支比率	-		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	-		89.3	64.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-

備考：  
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,460	5,192
資本勘定繰入	23,155	34,732
計	26,615	39,924

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3442.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名	魚沼市				
病院名	小出病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,375 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	90	92.6	91.2	92.7
療養	44	90.7	91.2	90.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	134	92.0	91.2	91.9
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	19.3	19.7

設立団体の状況		
人口(人)	34,483	
決算規模(千円)	34,831,034	
標準財政規模(千円)	15,987,913	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	24.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	972,103			
1 経常収益	972,103			
(1) 医業収益	41,385			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	41,385			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	930,718			
(うち国・都道府県補助金)	1,000			
(うち他会計補助・負担金)	433,249			
(うち長期前受金戻入)	464,689			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	802,486			
2 経常費用	802,486			
(1) 医業費用	788,609			
職員給与費	4,099	9.9	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	481,428	1163.3	9.5	10.7
経費	303,082	732.3	22.7	29.2
(うち委託料)	192	0.5	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	13,877			
(うち支払利息)	13,877	33.5	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	169,617			
純損益	169,617			
累積欠損金	383,008			
経常収支比率	121.1		101.9	100.3
医業収支比率	5.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	48.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	1146.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	48.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	62.0		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,247,077
1 固定資産	4,789,039
(1) 有形固定資産	4,787,873
(2) 無形固定資産	1,166
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	458,038
(1) 現金及び預金	354,065
(2) 未収金及び未収収益	104,345
(3) 貸倒引当金( )	372
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,333,045
1 固定負債	3,799,203
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,799,203
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	302,598
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	301,604
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	357
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	637
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,231,244
(1) 長期前受金	2,681,166
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,449,922
資本合計	-85,968
1 資本金	1,298,136
2 剰余金	-1,384,104
(1) 資本金剰余金	40,350
(2) 利益剰余金	-1,424,454
負債・資本合計	5,247,077
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	85,968
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	476,887	474,634
資本勘定繰入	225,109	395,261
計	701,996	869,895

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3442.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	南魚沼市		
病院名	ゆきぐに大和病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	12,121 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	11	指定病院の状況	救へ
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	45	88.6	82.3	82.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	88.6	82.3	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)		26.8	22.8	22.9

設立団体の状況		
人口(人)	54,851	
決算規模(千円)	40,474,106	
標準財政規模(千円)	19,866,412	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	87.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	71.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.3
修正医業収益(千円)	1,107,630

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,337,475			
1 経常収益	1,324,828			
(1) 医業収益	1,143,924			
入院収益	449,270			
外来収益	333,392			
診療収入計	782,662			
その他医業収益	361,262			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	180,904			
(うち国・都道府県補助金)	14,622			
(うち他会計補助・負担金)	115,836			
(うち長期前受金戻入)	9,395			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,647			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,332,861			
2 経常費用	1,321,409			
(1) 医業費用	1,269,343			
職員給与費	733,725	64.1	62.1	89.0
材料費	89,146	7.8	25.3	14.0
(うち薬品費)	34,430	3.0	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	54,528	4.8	11.4	5.4
減価償却費	82,046	7.2	9.5	13.0
経費	352,919	30.9	22.7	47.1
(うち委託料)	143,574	12.6	12.6	22.5
研究研修費	616			
資産減耗費	10,891			
(2) 医業外費用	52,066			
(うち支払利息)	3,518	0.3	1.3	1.3
(3) 特別損失	11,452			
損益				
経常損益	3,419			
純損益	4,614			
累積欠損金	1,832,017			
経常収支比率	100.3		101.9	98.5
医業収支比率	90.1		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.5		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	11.4		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	88.7		89.3	64.4

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,915,534
1 固定資産	7,094,017
(1) 有形固定資産	7,092,632
(2) 無形固定資産	1,385
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,821,517
(1) 現金及び預金	965,756
(2) 未収金及び未収収益	776,193
(3) 貸倒引当金( )	7,848
(4) 貯蔵品	86,083
3 繰延資産	-
負債合計	7,540,510
1 固定負債	4,936,755
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,730,355
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	206,400
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,996,618
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	409,007
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	142,507
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	600,000
(8) 未払金及び未払費用	840,030
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	607,137
(1) 長期前受金	1,303,115
(2) 長期前受金収益化累計額( )	695,978
資本合計	1,375,024
1 資本金	5,442,807
2 剰余金	-4,067,783
(1) 資本剰余金	20,791
(2) 利益剰余金	-4,088,574
負債・資本合計	8,915,534
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	150,192	152,130
資本勘定繰入	30,037	30,037
計	180,229	182,167

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	92.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名	南魚沼市				
病院名	南魚沼市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,890 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	25	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	140	75.5	83.7	85.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	75.5	83.7	85.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	16.0	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	54,851	
決算規模(千円)	40,474,106	
標準財政規模(千円)	19,866,412	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	87.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	71.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.5
修正医業収益(千円)	3,209,564

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,866,150			
1 経常収益	3,793,350			
(1) 医業収益	3,264,723			
入院収益	1,552,726			
外来収益	1,526,452			
診療収入計	3,079,178			
その他医業収益	185,545			
(うち他会計負担金)	55,159			
(2) 医業外収益	528,627			
(うち国・都道府県補助金)	178,945			
(うち他会計補助・負担金)	246,886			
(うち長期前受金戻入)	26,480			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	72,800			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,443,607			
2 経常費用	4,364,148			
(1) 医業費用	4,196,013			
職員給与費	1,966,687	60.2	62.1	67.4
材料費	735,660	22.5	25.3	17.7
(うち薬品費)	416,234	12.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	318,925	9.8	11.4	8.8
減価償却費	435,558	13.3	9.5	10.7
経費	899,373	27.5	22.7	29.2
(うち委託料)	346,666	10.6	12.6	13.9
研究研修費	14,677			
資産減耗費	144,058			
(2) 医業外費用	168,135			
(うち支払利息)	14,864	0.5	1.3	1.5
(3) 特別損失	79,459			
損益				
経常損益	-570,798			
純損益	-577,457			
累積欠損金	2,256,557			
経常収支比率	86.9		101.9	100.3
医業収支比率	77.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.3		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	80.0		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,915,534
1 固定資産	7,094,017
(1) 有形固定資産	7,092,632
(2) 無形固定資産	1,385
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,821,517
(1) 現金及び預金	965,756
(2) 未収金及び未収収益	776,193
(3) 貸倒引当金( )	7,848
(4) 貯蔵品	86,083
3 繰延資産	-
負債合計	7,540,510
1 固定負債	4,936,755
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,730,355
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	206,400
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,996,618
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	409,007
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	142,507
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	600,000
(8) 未払金及び未払費用	840,030
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	607,137
(1) 長期前受金	1,303,115
(2) 長期前受金収益化累計額( )	695,978
資本合計	1,375,024
1 資本金	5,442,807
2 剰余金	-4,067,783
(1) 資本金剰余金	20,791
(2) 利益剰余金	-4,088,574
負債・資本合計	8,915,534
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	291,245	302,045
資本勘定繰入	195,022	195,022
計	486,267	497,067

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	92.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名	湯沢町				
病院名	湯沢病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	10,090 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	57.5	61.2	60.8
療養	50	69.6	79.0	81.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	64.2	71.1	72.3
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	17.0	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	7,767	
決算規模(千円)	8,262,571	
標準財政規模(千円)	4,148,905	
財政力指数	0.98	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	35.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	338,449			
1 経常収益	326,387			
(1) 医業収益	40,923			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	40,923			
(うち他会計負担金)	40,923			
(2) 医業外収益	285,464			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	245,386			
(うち長期前受金戻入)	39,703			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,062			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	311,526			
2 経常費用	311,526			
(1) 医業費用	301,963			
職員給与費	5,801	14.2	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	68,797	168.1	9.5	11.7
経費	226,724	554.0	22.7	31.2
(うち委託料)	5,161	12.6	12.6	14.3
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	641	-	-	-
(2) 医業外費用	9,563	-	-	-
(うち支払利息)	3,332	8.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	14,861			
純損益	26,923			
累積欠損金	475,040			
経常収支比率	104.8		101.9	100.3
医業収支比率	13.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	87.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	699.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	84.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	12.9		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,762,255
1 固定資産	2,304,610
(1) 有形固定資産	2,304,610
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	445,313
(1) 現金及び預金	445,313
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	12,332
負債合計	796,715
1 固定負債	243,052
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	243,052
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	47,754
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	39,858
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	508
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,388
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	505,909
(1) 長期前受金	1,674,659
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,168,750
資本合計	1,965,540
1 資本金	2,080,301
2 剰余金	-114,761
(1) 資本金剰余金	360,279
(2) 利益剰余金	-475,040
負債・資本合計	2,762,255
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	280,112	286,309
資本勘定繰入	21,728	39,187
計	301,840	325,496

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1160.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名	津南町				
病院名	津南病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,163 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	45	77.0	70.2	77.8
療養	52	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	77.0	70.2	77.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	16.0	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	8,989	
決算規模(千円)	8,518,077	
標準財政規模(千円)	4,688,634	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	81.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	53.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,268,846			
1 経常収益	1,239,563			
(1) 医業収益	878,368			
入院収益	403,389			
外来収益	373,413			
診療収入計	776,802			
その他医業収益	101,566			
(うち他会計負担金)	34,771			
(2) 医業外収益	361,195			
(うち国・都道府県補助金)	38,249			
(うち他会計補助・負担金)	319,446			
(うち長期前受金戻入)	633			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	29,283			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,260,893			
2 経常費用	1,231,616			
(1) 医業費用	1,195,038			
職員給与費	574,284	65.4	62.1	78.9
材料費	98,747	11.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	42,718	4.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	46,754	5.3	11.4	6.0
減価償却費	57,271	6.5	9.5	11.7
経費	462,703	52.7	22.7	31.2
(うち委託料)	121,887	13.9	12.6	14.3
研究研修費	1,415			
資産減耗費	618			
(2) 医業外費用	36,578			
(うち支払利息)	3,048	0.3	1.3	1.7
(3) 特別損失	29,277			
損益				
経常損益	7,947			
純損益	7,953			
累積欠損金	1,115,870			
経常収支比率	100.6		101.9	100.3
医業収支比率	73.5		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	28.6		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	40.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	27.9		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	71.9		89.3	76.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	920,355
1 固定資産	583,536
(1) 有形固定資産	583,536
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	336,819
(1) 現金及び預金	189,748
(2) 未収金及び未収収益	139,954
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	6,975
3 繰延資産	-
負債合計	283,833
1 固定負債	106,916
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,171
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	63,745
2 流動負債	158,683
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,166
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,549
(6) リース債務	26,677
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	85,347
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,234
(1) 長期前受金	30,028
(2) 長期前受金収益化累計額( )	11,794
資本合計	636,522
1 資本金	1,752,392
2 剰余金	-1,115,870
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,115,870
負債・資本合計	920,355
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.6
修正医業収益(千円)	843,597

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	159,980	354,217
資本勘定繰入	41,593	41,593
計	201,573	395,810

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	127.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名	さくら福祉保健事務組合				
病院名	南部郷厚生病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,989 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	70	74.7	77.6	77.7
療養	50	69.7	69.9	63.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	72.6	74.4	71.7
平均在院日数(一般病床のみ)		120.7	143.5	175.2

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	376,134	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	130.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	257,851			
1 経常収益	257,851			
(1) 医業収益	227,996			
入院収益	127,672			
外来収益	85,315			
診療収入計	212,987			
その他医業収益	15,009			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	29,855			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	25,573			
(うち長期前受金戻入)	900			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	251,832			
2 経常費用	251,832			
(1) 医業費用	225,820			
職員給与費	7,715	3.4	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	109,860	48.2	9.5	10.7
経費	108,245	47.5	22.7	29.2
(うち委託料)	80,832	35.5	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	26,012			
(うち支払利息)	25,293	11.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	6,019			
純損益	6,019			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.4		101.9	100.3
医業収支比率	101.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	92.2		89.3	84.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,229,558
1 固定資産	1,628,628
(1) 有形固定資産	1,628,628
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	600,930
(1) 現金及び預金	565,997
(2) 未収金及び未収収益	35,014
(3) 貸倒引当金( )	81
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,329,770
1 固定負債	1,084,947
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,081,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	3,092
2 流動負債	216,766
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	155,439
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	738
(6) リース債務	1,057
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	59,532
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	28,057
(1) 長期前受金	49,504
(2) 長期前受金収益化累計額( )	21,447
資本合計	899,788
1 資本金	889,108
2 剰余金	10,680
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	10,680
負債・資本合計	2,229,558
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	101.0
修正医業収益(千円)	227,996

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	16,286	25,573
資本勘定繰入	91,974	46,266
計	108,260	71,839

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。